

マナミとタケヤの なるほど！不妊症のこと

第5話 「不妊症にやさしい社会って？」

不妊治療をしている約5500人に『仕事との両立はできていますか？』と聞いたところ

講師 ヤスコ
不妊治療経験者支援 NPOスタッフ

タカ先生の紹介で企業の勉強会にも参加させてもらった

その理由として通院と仕事とのスケジュールの調整が大きな課題になっていることがわかりましたその結果どうなったか？

なんと全体の約20%が退職されましたあらかじめ通院スケジュールを立てることが難しいという現実がわかったんです

不妊治療と仕事の両立は？

なんとほとんどの方が両立は難しいと答えています

難しいと感じる 95.6%

難しいと感じない 4.4%

仕事と不妊治療の両立は難しい

- 上位433
- 医師相談 729
- 難題に直面しつらい 1249
- スケジュールを立てることが難しい 2401
- 月に頻繁に仕事を休むことが必要 3659

じゃあどうしてそのような事態になっちゃうのかわからないながら私も働きながら不妊治療をしていたのですがその時のスケジュールを見て考えてみましょう

つまり5人に1人!? っていうこと?

体外授精 トライ甲の私のスケジュール

有給休暇

午後休暇

業務終了後ホルモン補充注射のための通院。

通院 採卵

授精

受精確認の電話

仕事を取り上げてクリニックへ。

卵巣チェックのため通院。待ち時間に夕食。

判定日。待ち時間夕食・PCで仕事。

判定日

● 通院日

私体外授精をしていた時のある月のスケジュールですほとんどに頻繁にクリニックに行っている感じですね仕事を早退して卵子を育てるための注射を打ちにいったり採卵したり…

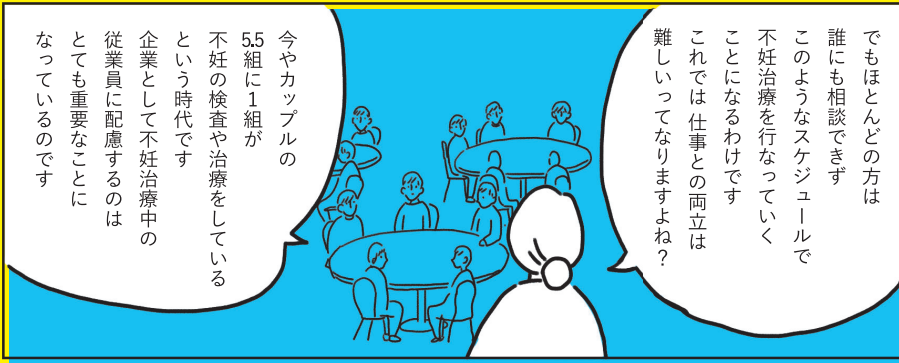
休暇をとって採卵したりホルモン補充のために仕事の合間をみて通院したり…

6:00 起床
7:00 出勤
8:00 出勤
9:00
10:00
11:00
12:00
13:00
14:00 仕事を取り上げてクリニックへ。
15:00 卵巣チェックのため通院。待ち時間に夕食。
16:00
17:00
18:00 通院
19:00 夕食
20:00 通院
21:00 通院
22:00 通院
23:00 入浴
24:00 就寝

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29

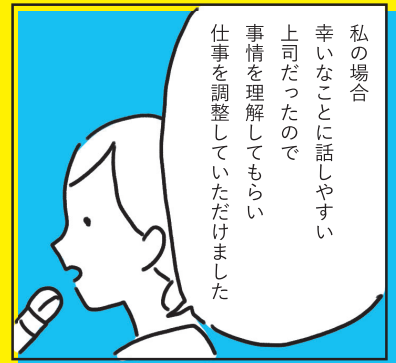
©2021NPO法人Fine

* 治療の一例です

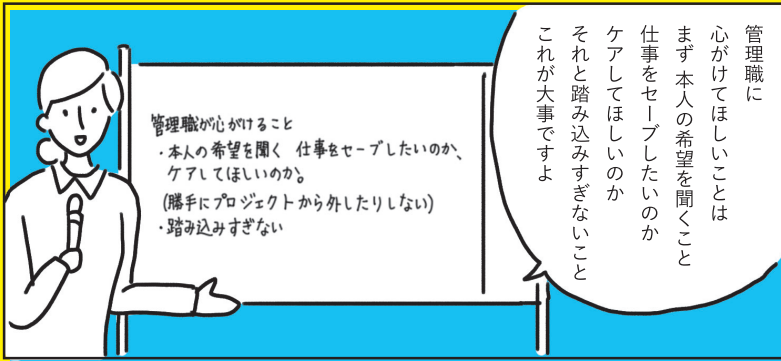


今やカップルの5.5組に1組が不妊の検査や治療をしているという時代です。企業として不妊治療中の従業員に配慮するのはとても重要なことになっています。

でもほとんどの方は誰にも相談できず、このようなスケジュールで不妊治療を行なっていくことになるわけです。これでは仕事との両立は難しいってなりますよね？



私の場合、幸いなことに話しやすい上司だったので、事情を理解してもらい、仕事を調整していただきました。



管理職が心がけること
 ・本人の希望を聞く 仕事をセーブしたいのか、ケアしてほしいのか。
 (勝手にプロジェクトから外したりしない)
 ・踏み込みすぎない

管理職に心がけてほしいことは、まず本人の希望を聞くこと。仕事をセーブしたいのか、ケアしてほしいのか、それと踏み込みすぎないこと、これが大事ですよ。



先生もし部下から相談があったら、どんな言葉をかけたらいいでしょうか？

こちらをご覧ください



不妊治療当事者を傷つける言葉

子どもまだ？

子ども持つっていいよ

また休みとるの？

妊活、あんまり長期はやめてね？

妊活？じゃあプロジェクトから外れておくか

治療はいつまでやるの？

体外受精？そこまでやるの？

そしてこんな声掛けは、当事者を傷つけることがありますよ。

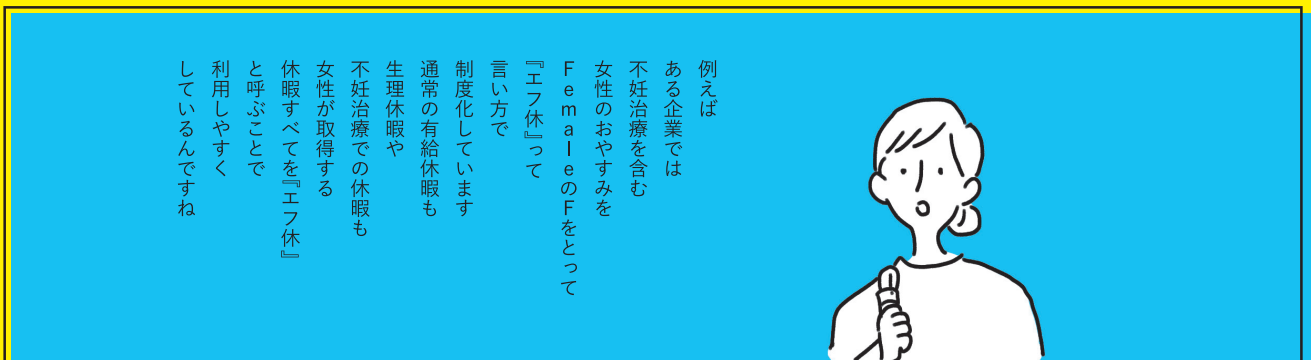
※NPO法人Fineでの企業向け研修資料より



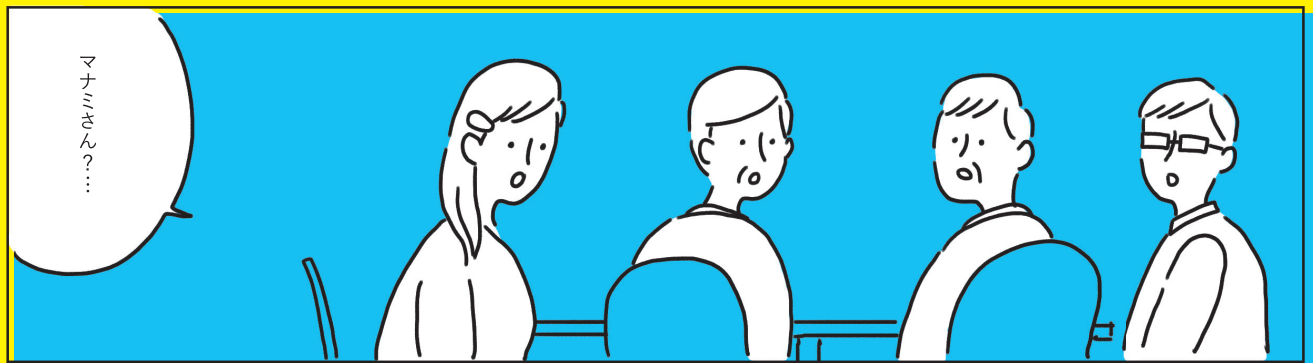
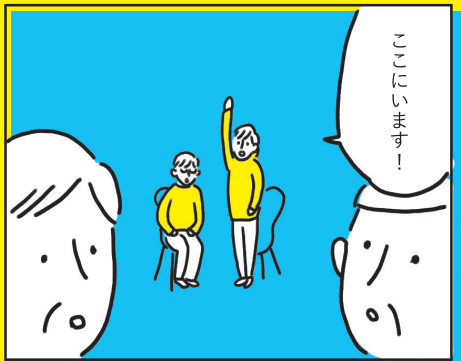
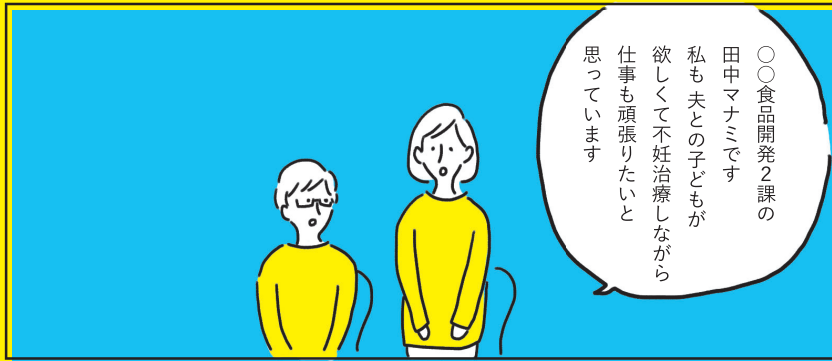
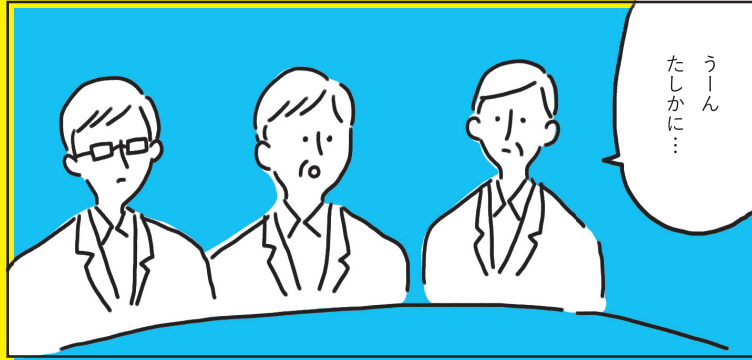
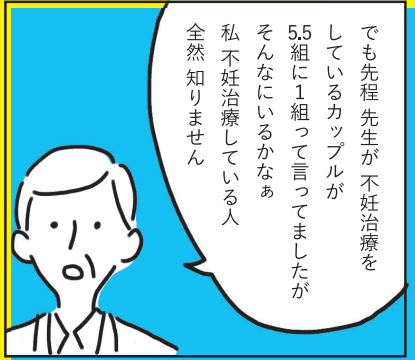
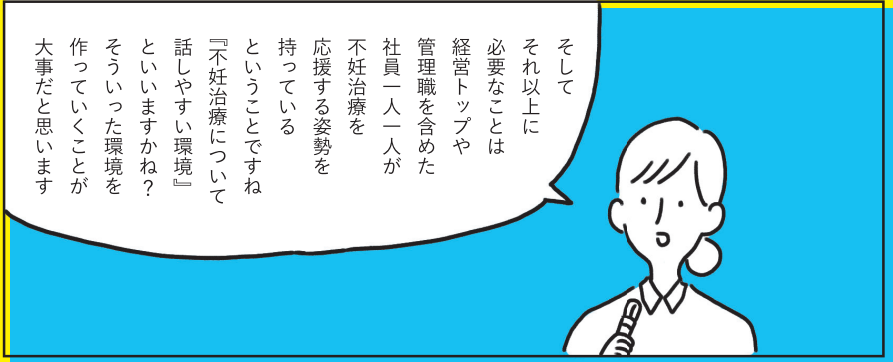
まずは不妊治療に対して、休暇制度やフレックスタイム制などの両立支援制度を整えましょう。

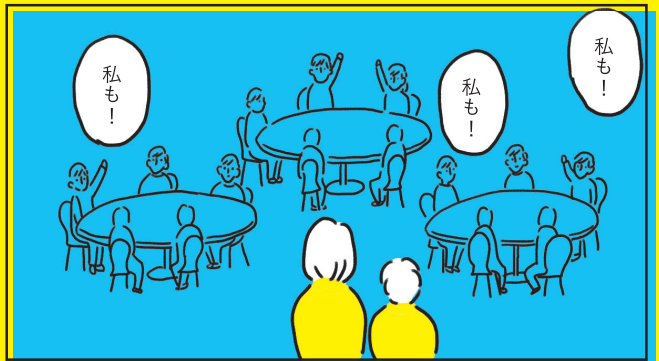
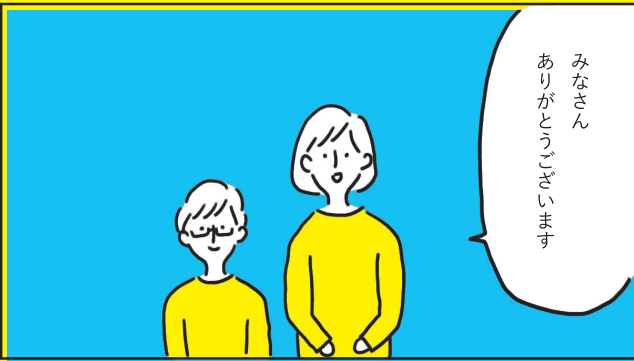
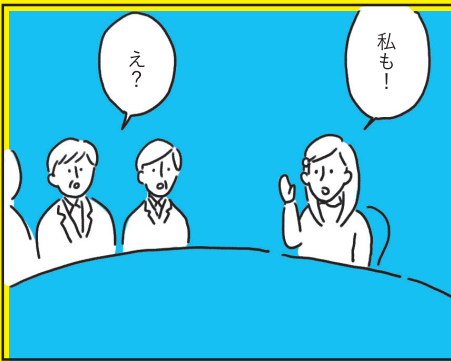
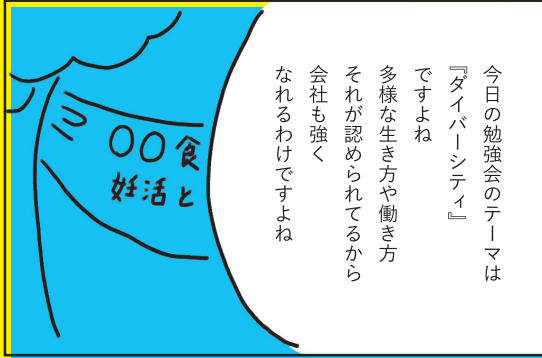
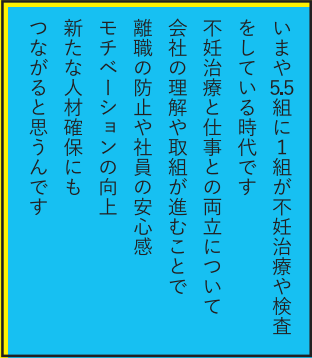


会社として、こんなことができるんでしょうか？



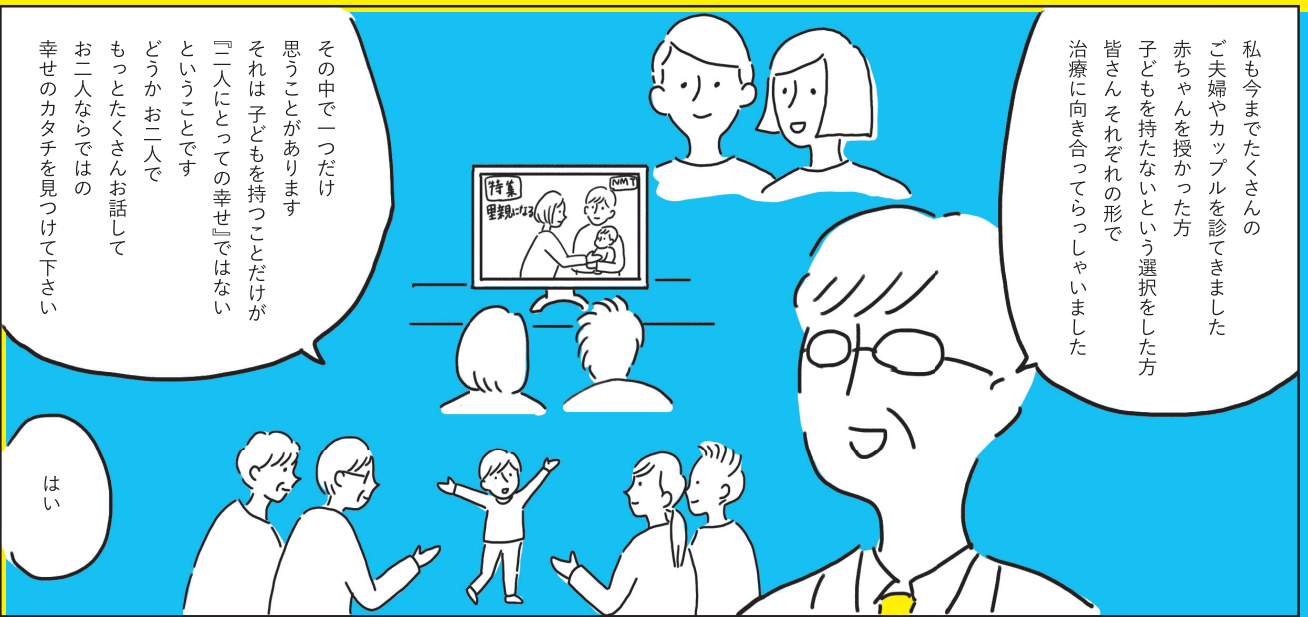
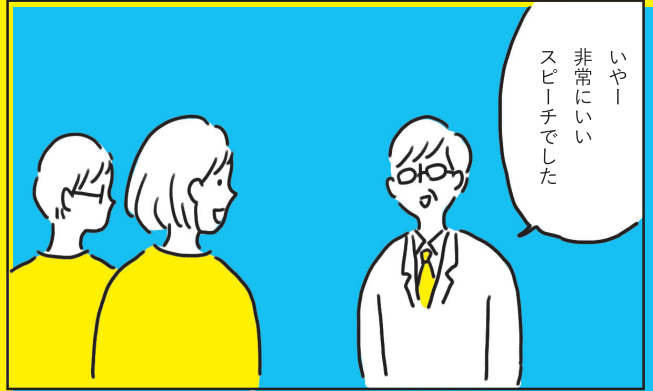
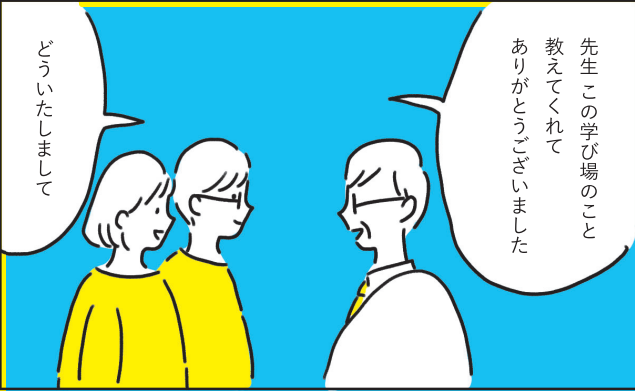
例えばある企業では、不妊治療を含む女性のおやすみをFemaleのFをとって『エフ休』って言い方で、制度化しています。通常の有給休暇も生理休暇や不妊治療での休暇も女性が取得する。休暇すべてを『エフ休』と呼ぶことで、利用しやすくしているんですね。







では不妊治療の経験のある方と未経験の方とでテーブル回りでワークショップをしましょう



その中で一つだけ思うことがあります それは子どもを持つことだけが『二人にとっての幸せ』ではないということですよ
どうかお二人でもっとたくさんお話ししてお二人ならではの幸せのカタチを見つけて下さい

はい



私たちはまだきつと不妊治療の入り口にいるだけかもしれない その結果がどうあろうと二人で向き合っていくことが大切 この学び場は そんなことを教えてくれた

